



平成 19 年 3 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏 (JASDAQ・コード 7610) 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩 電 話 番 号 03-5408-5100(代表)

平成19年2月期2月度の概況についてのお知らせ

平成19年2月期2月度の概況を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 単体売上高速報

(百万円)

								,		
	3月	4月	5月	1 Q	6月	7月	8月	2 Q	上半期	
売上高	3,543	3,171	2,978	9,693	2,633	3,194	3,211	9,038	18,731	
対前年同月増減率	41.1%	35.6%	37.5%	38.1%	29.5%	19.1%	9.4%	18.1%	27.7%	
	9月	10月	11月	3 Q	12月	1月	2月	4 Q	下半期	年度累計
売上高	2,972	2,685	3,027	8,684	6,305	5,076	3,474	14,855	23,540	42,272
対前年同月増減率(実質)	23.5%	18.0%	23.4%	21.7%	34.9%	32.4%	47.2%	36.7%	30.7%	29.4%
対前年同月増減率(名目)	18.5%	13.0%	18.9%	16.9%	32.2%	28.9%	41.7%	33.1%	26.6%	27.1%

- (注) ・ 平成 18 年 9 月 1 日に株式会社テイツーのアイ・カフェ事業部門を会社分割し、子会社の株式会社アイ・カフェ に承継したため、平成 18 年 9 月以降の単体売上高にはアイ・カフェ事業部門の売上は入っておりません。
 - ・ 対前年同月増減率(実質)は、比較対象としている前年の単体売上高には、9 月以降はアイ・カフェ事業部門の 売上高を控除した数字を使用しております。
 - ・ 対前年同月増減率(名目)は、比較対象としている前年の単体売上高は、従来どおり9月以降もアイ・カフェ事業部門の売上高を含めた数字を使用しております。

2. 事業セグメント別 既存店売上高速報(対前年同月増減率)

	3月	4月	5月	1 Q	6月	7月	8月	2 Q	上半期	
古本市場事業	31.8%	25.9%	24.7%	27.7%	16.9%	13.9%	4.4%	11.2%	19.2%	
アイ・カフェ事業	7.2%	9.1%	-1.2%	5.2%	13.9%	4.8%	1.0%	5.8%	5.3%	
EC事業	11.2%	12.5%	10.3%	11.3%	-5.3%	6.1%	9.8%	3.0%	7.0%	
(E C 売上)	16.9%	21.6%	18.4%	18.9%	9.5%	13.7%	12.0%	11.7%	15.2%	
(トナー売上)	-7.3%	2.8%	-7.3%	-4.1%	-29.5%	-29.6%	- 11.0%	-24.0%	-14.6%	
(その他売上)	-41.4%	-69.8%	-52.7%	-57.4%	-84.9%	-5.1%	131.8%	-55.9%	-56.7%	
	9月	10月	11月	3 Q	12月	1月	2月	4 Q	下半期	年度累計
古本市場事業	17.5%	12.0%	17.3%	15.7%	29.4%	26.9%	41.1%	31.1%	24.9%	22.4%
アイ・カフェ事業	0.1%	-2.4%	1.4%	-0.4%	3.6%	1.7%	5.9%	3.6%	2.2%	3.8%
EC事業	-20.9%	3.7%	2.3%	-5.7%	14.2%	19.3%	10.0%	14.6%	4.1%	5.6%
(E C 売上)	-22.2%	7.1%	9.5%	-3.3%	23.1%	28.8%	19.6%	23.9%	9.8%	12.4%
(トナー売上)	-14.2%	-14.8%	-32.3%	-21.0%	-13.0%	-27.0%	-29.1%	-22.8%	-21.9%	-18.4%
(その他売上)	0.8%	25.9%	10.8%	11.7%	-41.1%	-20.0%	-88.4%	-46.5%	-23.7%	-45.9%

- (注)・事業セグメント別既存店売上高速報には連結対象子会社の売上高も含まれているため、上記1.単体売上高の対 前年同月増減率とは連動いたしておりません。
 - ・アイ・カフェ事業は、連結対象子会社である㈱アイ・カフェの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・EC事業は、連結対象子会社である㈱ユーブックの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・既存店は、開店後13ヶ月目からを既存店舗と定義しております。

3. 営業概況

2月度は、新品ゲーム売上高好調に、古本、新品CDの売上好調が加わり、テイツー単体売上高は対前年同月増減率(実質)で47.2%増の3,474百万円となりました。

古本市場事業の既存店売上高につきましては、「Wii」や「ニンテンド-DS Lite」、「PSP モンスターハンター ポータブル 2 nd」を中心とした新品ゲームの売上好調に加え、コミックを中心とした古本の売上も好調に推移し、また新品CD売上においては、浜崎あゆみの「ABEST2」の発売などにより大きく伸長いたしました。こうした結果、古本市場事業の既存店売上高は対前年同月比 41.1%増となりました。

アイ・カフェ事業につきましては、一部の店舗においてオンラインでのTOEIC教室およびパソコン教室といった教育コンテンツを店内に設置したほか、バレンタインデー用のフリーフードを提供するなど販促に注力した結果、既存店売上高は対前年同月比 5.9%増となりました。

E C事業につきましては、先月同様、D V Dを中心に品揃えに注力し商品力を強化した結果 E C 売上の伸長が続き、売上高は対前年同月比 10.0%増となりました。

4. 出退店の状況

	07/1 末店舗数	出店数	退店数	07/2 末店舗数
古本市場事業	1 1 7	0	1	1 1 6
(古本市場直営店)	(86)	(0)	(0)	(86)
(古本市場業務提携·FC店)	(27)	(0)	(1)	(26)
(ブック・スクウェア)	(4)	(0)	(0)	(4)
アイ・カフェ事業	3 3	0	1	3 2
(直営店)	(16)	(0)	(1)	(15)
(FC店)	(17)	(0)	(0)	(17)
合計	1 5 0	0	2	1 4 8

(注)売上高は、公表日までのデータに基づいた速報ベースであり、修正される可能性があります。 また、監査法人による会計監査は受けておりません。